

チームエツフェガーラ

月岡雅隆 レースレポート

2011 TOYOTA SL-KART MEETING 第 2 戦

開催場所 : フェスティカ サーキット(栃木県)

開催日 : 2011 年 6 月 26 日

天候 : くもり

◆参戦クラス/マシン

クラス : YAMAHA スーパーSS

フレーム : birel RY31

エンジン : YAMAHA KT100

タイヤ : BRIDGESTONE SL07

◆レース結果

TT : 6 位

予選 : 10 位

位

プレファイナル : 8 位



◆目標 / 意気込み

最近、自分の走りに魅力を感じません。

しかし、継続は力なりのことばを信じて、地味でも粘り強いレースができると信じて、グイグイ前に果敢に食い込んでいきたいと思います。

◆レースレポート

レース当日、前日の雨が残っており、公式練習の時は、セミウェット。

TT、路面はドライ。路面温度が高くない、エアを高くしたが、仇となりタイムが伸びず。前回同様、6 位。

予選、必ず上位のおしりに喰らい付く為に、一周目から果敢?に 4 コーナーのインに飛び込んだが、十分に自分のペースを奪い取ることができず、パッシングを仕掛けた選手とその前に居た選手にぶつけてしまい、リタイヤ。

プレファイナル、アウト側スタート。前回全てのヒートで、アウト側スタート。前回、ポジション取りが下手で、ポジションを必ず落としてしまっていたので、今回は、十分に注意して、スタートに挑んだが、爪があまくまたスタートでポジションアップならず。

決勝、またまたアウト側スタート。今度こそはと、気合をいれたが、こころと体が裏腹に、またしてもポジション取りが中途半端。2 コーナーで刺され、順位を落とす。レース序盤ペースが上がらず、後続に抜かれる。ポジションを上げるどころか、順位を落とす。しかし、ここは冷静に前車にひたひたと着いて行き、前車の隙を付き、ポジションアップ。後半、走りも安定してきて、ペースが上がり、更なるポジションアップまでもう少しのところ、チェッカー。

◆今回のレースの振り返り

今回は、結果を出したいと焦ってしまい、中途半端なパッシングで、いっしょに参加している選手の方に迷惑をかけてしまいました。抜くなら確実に抜く、抜けないなら、次のチャンスを待てる余裕を持てる様に、心掛けます。

決勝では、少し手こずったが、タイムロスしない様にパッシングすることに心掛け、以前よりはうまくできたと思います。あと、これまで、レースをやっていて、レースウィーク中に、問題をうまく改善できたことがあまりなかったが、ハマコーに相談したり、自分なりに考えた結果、決勝前のセット変更で大幅に改善することができた。

まだまだ、トップとの差があるので、細かい問題を確実に潰していけるようにレースウィークの中で、集中して行動し、走ることが引き続きの課題です。あと、スタートも課題。

監督には、曲がったシャフトを治していただいて、面倒お掛けしました。ありがとうございます。また、面倒かけるとはと思いますが、よろしくお願いします。

ハマコー、津村、手伝いに来てくれてありがとう。また、いっしょにレースやろうぜ。